

大学合格体験記

福井大学 工学部 物質生命工学科 合格
三国高校 2022年卒 富田 将仁



私は将来、カラーフォーマーというインクをリサイクル可能にしたいと思い、学業に励んできました。この理由は、父の職場体験でこのインクに出会い興味を持ったからです。この時から、父の進学先であった福井大学に行きたいと強い意志を持ちました。そして、この意志を大学に伝えるために総合型選抜を選びました。

受験を意識し始めた頃、私は模試の点数が今よりもかなり低く、学校の担任の先生には、「受かるためには、かなり努力しないと行けないだろう」と言われていました。しかし、この言葉が福井大学に行きたいという気持ちをより一層強めてくれました。その後、英単語を覚えたり、問題を沢山解いたりして、自分なりに努力をしましたが、なかなか点数が伸びず周りの人との差が開いていると感じることが多くなりました。

そこで、親に相談をし、KATEKYO 学院に通わせて貰うことになりました。塾に通いたかった理由は、点数を伸ばしたいからだけでなく、勉強のモチベーションを保ちたいからでした。ここでは、マンツーマンで自分のペースで進んでいくため、自分の苦手分野と得意分野がはっきり分かり、明確な目標を持つことができます。例えば、私は化学が好きなのですが、化学の中でも理論化学に苦手意識がありました。そのため、化学を教えてもらう際には、この分野を重点的に行っていました。計算式を立てるコツを教わり、様々な問題形式に慣れていき、苦手意識を無くしていきました。また英語では長文を読むスピードが遅く、模試ではいつも時間が間に合いませんでした。そこで、毎日長文の問題をとくことに加え、音読をするようにしました。そうすることによって、文章を読むスピードが速くなり、時間内に終わることが多くなりました。このような勉強法で、自信のなかった自分を変えることができました。そして、点数が伸びるにつれて勉強を好きになり、第1志望を合格できる点数まであげることが出来ました。

また、私を担当してくださった先生の提案もあり、福井工業大学の公募推薦も受験することになりました。塾へ通っていないければ、その選択肢に気付かず、併願への不安を抱えながら第1志望を受験しなければならなかったと思います。そのため、提案してくださった先生には本当に感謝しています。

私は受験期を、自分を大きく変えることができる期間だと思っています。私は主に2つの点で自分を変えることに成功したと感じています。まず1つめは、先程も言ったように、自信をつけたことです。私は、勉強面や運動面などで中途半端な結果ばかり残してきていて、様々なところで自信をなくしていました。しかし、KATEKYO 学院では自分に合ったやり方で進めて下さいます。そうすることで、家での復習なども質が高くなり、自信もつきました。2つめは、分からなかったところは躊躇なく質問するようになりました。前までは、「相手が忙しかったらどうしよう。」「この問題がわからなかったら恥ずかしいのではないかな？」とあってしまい、自分だけで解決しようとして時間をかけてしまうことが多々ありました。しかし、塾がある度に質問を持っていくように意識すると、分かった"つもり"でいたところが多いことに気づきました。このことに私は衝撃を受け、自分一人では全然解決出来ていなかったことを知りました。その後は、塾でも学校でも、疑問点はその日のうちに解決するようになりました。

これらのことから、私が第一志望の福井大学に合格出来たのは、学習環境がとても良かったからだと思います。そして、自分の欠点を治すことが出来たからでもあると思います。これは全てKATEKYO 学院に通えたからこそ得られたことだと思います。自習室が備わっていて、質が高く、自分の性格の欠点まで治すことができました。受験生は、点数や判定で追い込まれた気持ちになっても、合格後の夢を諦めないでください。そうすることで、必ず良い結果が待っています。